

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪音楽大学新校舎建設計画	階数	地上8F
建設地	豊中市野田町2-21,1461-19,1461-1	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、法22条地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年6月1日
敷地面積	9,972 m <sup>2</sup>	作成者	(株)アーキスト 関織絵
建築面積	1,331 m <sup>2</sup>	確認日	2015年6月8日
延床面積	7,404 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アーキスト 関織絵



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外の 83%  
④上記+ 83%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>大学創立100周年記念の事業として、より良い教育環境の整備と地域貢献の場を念頭に計画した施設である。低層階へ展示室や図書館等の開放型機能を配置し、外部広場と連続性を持たせることで、従来よりも地域に開いた施設環境を実現している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>建物を出来るだけ北側に配置し、上層階の床面積を小さくすることで、日影の影響を低減している。また、凹凸をつけた建物形状により、はく離流や吹降ろしの軽減、風速増加の抑制を行い、周辺環境への風の影響に配慮している。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>音楽大学という特性上、周辺環境への騒音対策や建物内での防音措置として、乾式遮音壁や遮音二重床等を採用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>音楽の明瞭性や響き等、音楽大学に必要な機能性を意識した内装計画としている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>PAL*。一次エネルギー消費量共に基準値を下回る設計を行い、建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化を実現している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>主要構造躯体の鉄骨に強度の高いSS400材を採用している。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>地域に開いた外部空間を充実させるため、植栽の周囲にベンチや小ステージなど憩いのスペースを計画している。また、沿道緑化を設けるなど、まちなみや景観への配慮を行っている。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>風の通り道を遮らないよう建物と緑の配置に配慮し、周辺環境への熱的な影響の低減を行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0023

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	大阪音楽大学 新校舎建設計画					
		建設地	豊中市野田町2-21,1461-19,1461-127,282,283-1,283-2,284,285					
		用途/区分	学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
			住戸・宿泊	3.0				
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.2
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.8
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								